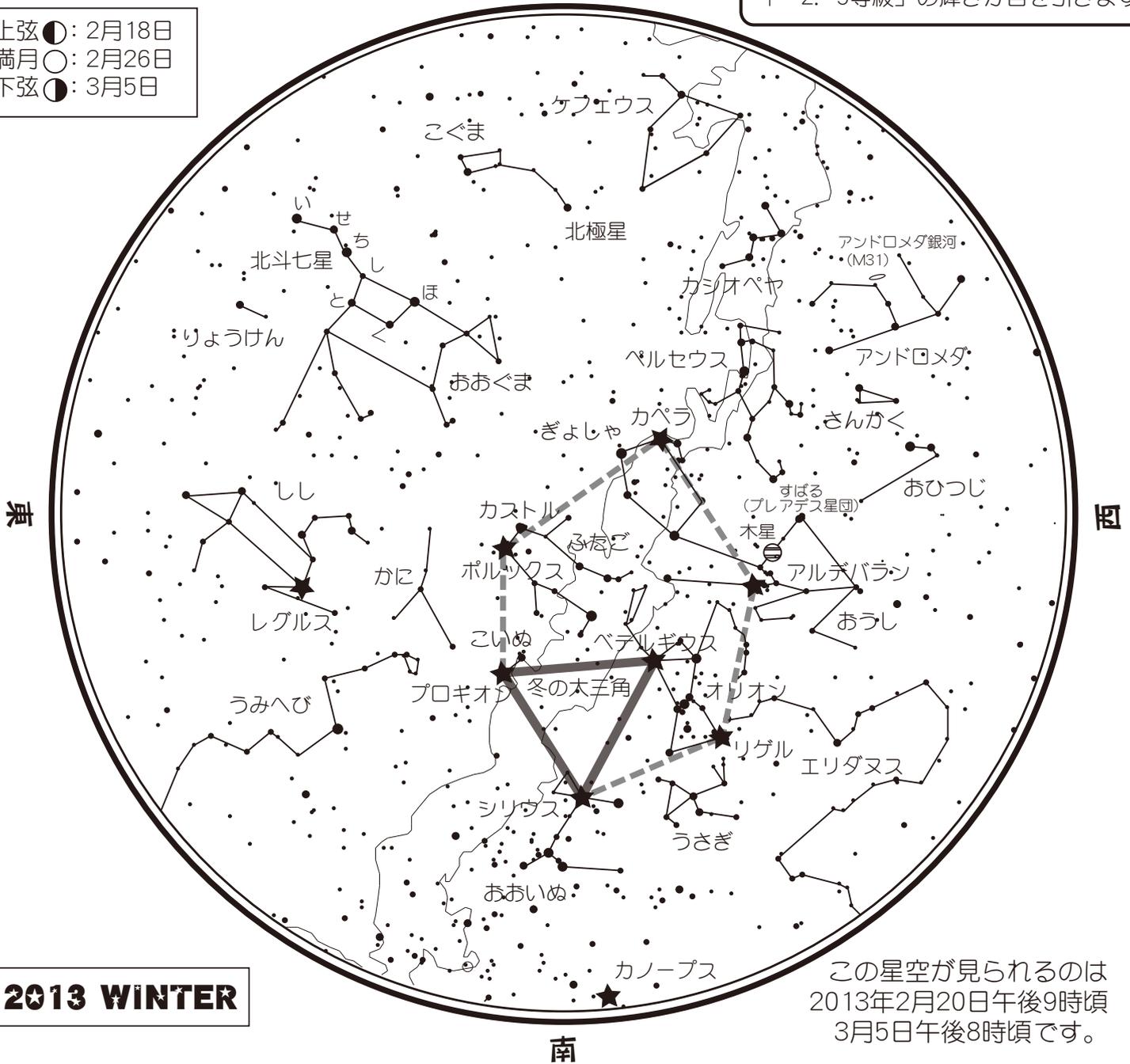


★ 姫路で見る2月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう★
午後9時頃、西の空高くに見えます。
今年はおうし座の中に見え
一等星よりも明るい
「-2.5等級」の輝きが目を引きまます。

上弦☾: 2月18日
満月☽: 2月26日
下弦☾: 3月5日



2013 WINTER

この星空が見られるのは
2013年2月20日午後9時頃
3月5日午後8時頃です。

夜9時頃は、南の空に「冬の大三角」が見え、星座を探す目印になります。冬の大三角は、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスで完成です。オリオンはギリシャ神話に登場する狩人の名前、こいぬ座とおおいぬ座はオリオンのお供の犬です。お供をつれたオリオンが向かい合っているのは、おうし座です。一等星アルデバランと太陽系の惑星「木星」が、おうしの目で輝きます。肩の部分にぼんやり見える星団「すばる」は目の良い人で5~7個の星を確認できます。オリオンとおうしの勝負が気になって、そばで見ているのがふたご座とぎよしゃ座です。天頂付近に見えるふたご座は、銀色の二等星カストルと金色の一等星ポルックスが仲良く並んで輝きます。ぎよしゃ座は一等星カペラと4個の星が五角形を作っています。

この時期、星空は少しずつ冬から春へ移り変わります。東の空には、かに座やしし座、おおぐま座などの春の星座が見えるようになりました。「北斗七星」や一等星のレグルスを目印に探してみましょう。

姫路科学館プラネタリウムは休演中です

2013年3月16日にリニューアルオープンします！お楽しみに☆